

岐阜県職員倫理憲章 岐阜県立揖斐高等学校 実行計画

平成18年7月に発覚した不正資金問題に対する深い反省と再発防止への固い決意とともに、岐阜県職員としての基本理念を示すために平成18年12月28日に制定した「岐阜県職員倫理憲章」の内容を実践していくために、下記のとおり岐阜県立揖斐高等学校実行計画を定めます。

平成29年4月1日

1 法令を遵守するとともに、自らを厳しく律します。

- ・ 法令に照らして判断・行動し、疑惑や不信を招くことのないよう努めます。
- ・ 不当な圧力や働きかけに左右されることなく、誰にでも公平、公正に対応します。

【取組事項】

- 教育公務員であることの自覚と誇りを忘れず、生徒の範たるよう余裕をもち出勤し業務開始に備えます。
- 生徒個人情報への扱いには十分留意し、職務上の守秘義務を遵守します。
- 通勤途上や出張時などの勤務中はもちろん、勤務時間外においても交通法規を遵守し、無事故・無違反を徹底します。
- 常に研鑽に励み、教育者としての資質向上に努めます。

2 税の重みを深く認識し、無駄のない行政を進めます。

- ・ 経費の節減を徹底し、最少の経費で最大の効果を挙げるよう努めます。
- ・ 前例にとらわれず、常に業務を点検しながら見直しを図ります。

【取組事項】

- 事務用品の在庫管理の徹底と再利用を促進し、購入経費について一層の縮減を図ります。
- 両面コピーや縮小コピー等の活用によるコピー使用枚数の削減を図り、経費節減を徹底します。
- 勤務時間前・昼休みの消灯に努め、節電を心掛けます。

3 県職員としての自覚を高め、質の高い行政サービスを提供します。

- ・ 専門的な能力・知識と、幅広いものの見方・考え方の修得に努めます。
- ・ 法的根拠や仕組みを理解し、迅速・丁寧な業務を進めます。

【取組事項】

- 教育者の自覚のもと絶えず研修に努め、専門性の高い授業をわかりやすく提供できるよう、授業研究会を実施します。また、年2回の授業アンケートを実施し、授業改善に努めます。
- 日頃から、校内業務に関する知識の習得など、自己研鑽に努めます。
- 校務に直結する研修はもとより、県が実施する研修講座も積極的に利用し、幅広い教養と社会性を備えた人材の育成に努めます。

4 常に危機に備える意識を持ち、事故や不祥事を防止します。

- ・ マニュアルを整備するなど、日頃からのチェック体制を確立します。
- ・ どのような情報にも細心の注意を払い、組織としていち早く対応します。

【取組事項】

- あらゆる不測の事態発生時に迅速な情報伝達を図れるよう、職員間のメール配信システムと緊急連絡網を活用します。
- あらゆる情報に常に細心の注意を払い、危機管理意識を高くもち、迅速な状況報告と適切な対応により、問題発生を未然に防止します。
- 施設・設備の点検を定期的に行い、学校事故の未然防止に努めます。
- 想定される非常変災事案に備え、危機管理対応マニュアルを定期的に見直し、保護者や生徒への緊急連絡方法や、職員の役割分担を整備します。
- 県内外の自治体や民間企業等で発生した危機事例の収集に努め、所属内の危機管理体制の見直しや職員の危機管理意識の向上等に役立てます。

5 問題発生時には、事実をありのままに公表し、迅速かつ誠実に対応します。

- ・ 正確な情報の把握・公表に努め、責任の所在を明確にした上で問題の拡大を防ぎます。
- ・ 徹底した原因究明を行い、適切な再発防止策を講じます。

【取組事項】

- 問題発生時には、メール配信システムや緊急連絡網等の活用により、速やかに全職員への情報伝達を完了し、情報収集・分析や県民への情報提供を速やかに行います。
- 生徒が怪我をした場合は、速やかに応急措置をし、保護者、校内の連絡並びに各医療機関の適切な処置が受けられるようにします。
- 保護者や地域との情報共有に努め、連携した教育活動の展開を図ります。
- 教職員の不祥事については、生徒に対する影響を配慮しながら、速やかに保護者、生徒、県民に謝罪し、再発防止に努めます。

6 職員が一丸となって、風通しのよい組織風土をつくります。

- ・ 自分の職責にとらわれず、知恵を出し合い、自由な議論ができる職場をつくります。
- ・ 不都合な情報こそ速やかに包み隠さず明らかにできる組織をつくります。

【取組事項】

- 毎月開催する職員会議や週二回以上開催する朝会等を通して業務の進捗状況等について職員間の情報共有を図り、課題やその解決方法等について自由闊達な議論を行います。
- 管理職は、定期的な職員面談を実施し、職員の日頃の考えや悩み等の把握に努めるとともに、気軽に議論・意見具申できる雰囲気づくりに努めます。
- 職員は良い情報はもとより、不都合な情報であっても上司への報告を速やかに行います。

7 県民のひとりとして、積極的に地域や社会に貢献します。

- ・ 地域での活動に積極的に参加します。
- ・ 環境問題などの社会を取り巻く身近な課題に率先して取り組みます。

【取組事項】

- 全ての職員に一つ以上の地域活動等（地元の消防団や自治会等の地域活動、ボランティア活動等）の参加を奨励し、それを通して得た「ひとりの県民としての目線」を日々の業務にフィードバックします。
- 地域の行事に生徒とともに積極的に参加し、揖斐高生が地域社会で有為な人材となるよう指導します。
- 時間外勤務の縮減や、年次休暇の計画的な取得の促進等により、地域活動が行いやすい職場環境づくりに努めます。

8 県民との対話を大切にし、県民とともに「確かな明日の見えるふるさと岐阜県づくり」に取り組みます。

- ・ 県政全般にわたる情報を分かりやすく、積極的に公開します。
- ・ 積極的に現場に出かけ、県民の意見や考えを政策・施策に活かします。

【取組事項】

- ホームページに当校の教育目標、教育方針など学校運営に関することや、学校の最新のニュースを掲載し、揖斐高校の現在を分かりやすく県民の皆様に適時・的確に提供します。
- 年2回の学校評議員会の実施により、地域の皆様から客観的な評価をいただくことによって、職員が見落としている視点や、意識のギャップを気付かせてくれる貴重な情報を大切にし、真摯に耳を傾け、校務の見直しや勤務態度の改善等に役立てます。